

広報ひたち等アンケートの調査結果について

- 1 調査概要
- 2 回答者属性
- 3 「まちづくりに対する意見・提案」の集計結果
- 4 「まちづくりに対する意見・提案」の概要
- 5 「大綱・施策別の意見・提案」の主な内容



1 調査概要

(1) 調査期間	広報ひたち2月号掲載 ～ 令和8年2月20日（金）		
(2) 調査内容	まちづくりに対する意見・提案		
(3) 回答数	・ 広報ひたち	166件	合計 324件
	・ 市公式LINE・ホームページ	158件	

- Q1. 住所：日立市 町
- Q2. 性別： 男 ・ 女 ・ 回答しない
- Q3. 年代：
10代/20代/30代/40代/50代/60代/70代以上
- Q4. 今後5年、日立市に住み続けたいですか（1つ選択）
（住み続けたい/できれば住み続けたい
どちらともいえない/できれば転出したい/転出したい）
- Q5. 日立市に愛着がありますか（1つ選択）
（ある/ややある/どちらともいえない/あまりない/ない）
- 【自由記載】
今後日立市が取り組むべき具体的な内容・アイデア

（設問）

The screenshot shows a detailed survey form with multiple sections for providing input. It includes checkboxes for various topics like urban planning, culture, and environment. There are also sections for demographic information and a large area for free-text responses.

（市報）

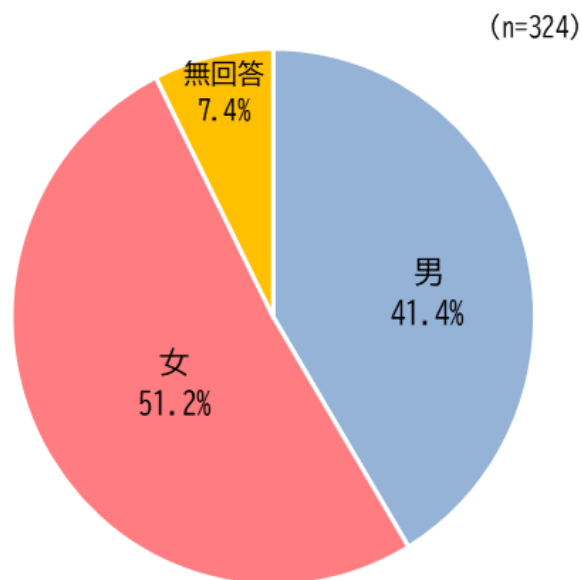
The poster features a cartoon character and text encouraging citizens to provide their opinions and proposals. It highlights that this is the final year for the previous basic plan and includes a deadline of February 20th.

（市公式LINE）

2 回答者属性

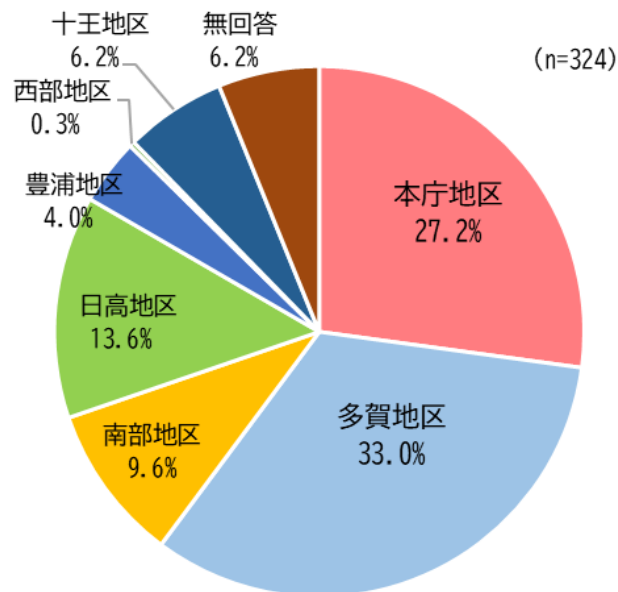
【性別】

女性の回答が若干多い。



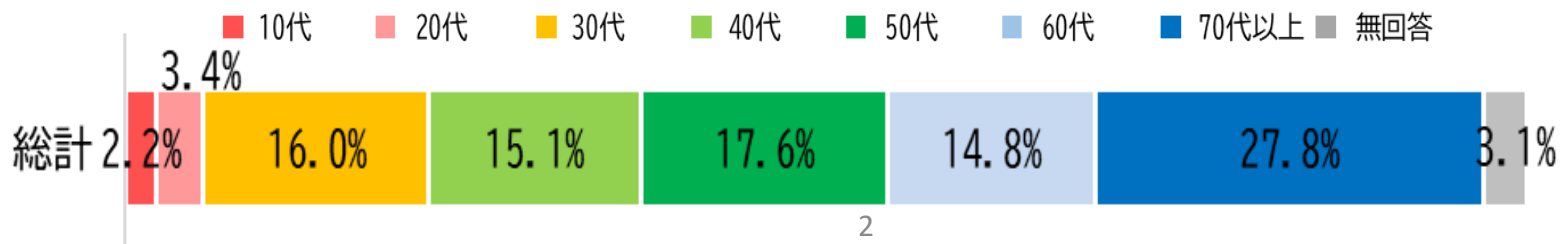
【居住地区】

本庁と多賀地区で約6割を占める。



【年代】

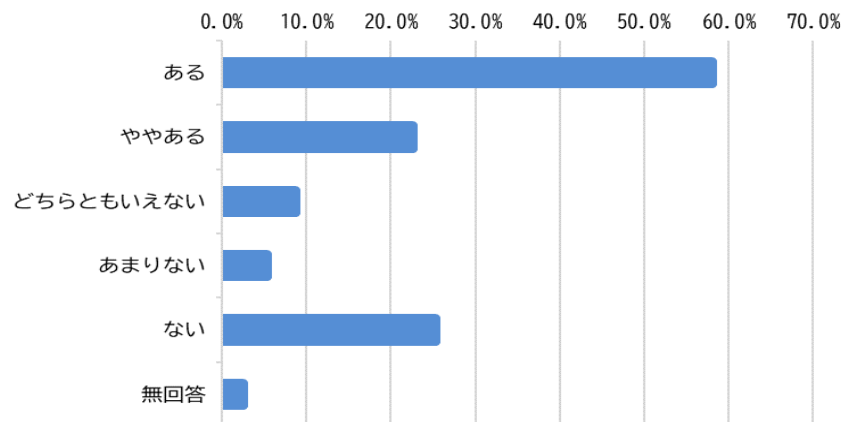
60代以上が約4割、10代、20代の回答が少ない。



2 回答者属性

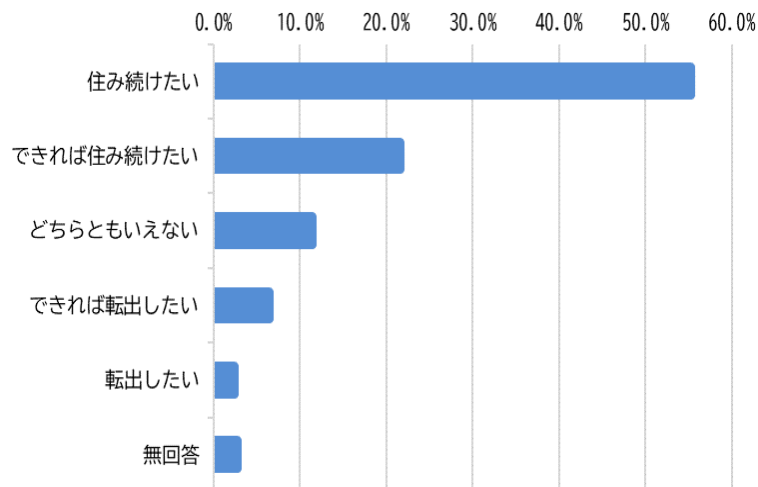
【市への愛着】

「ある」が約6割

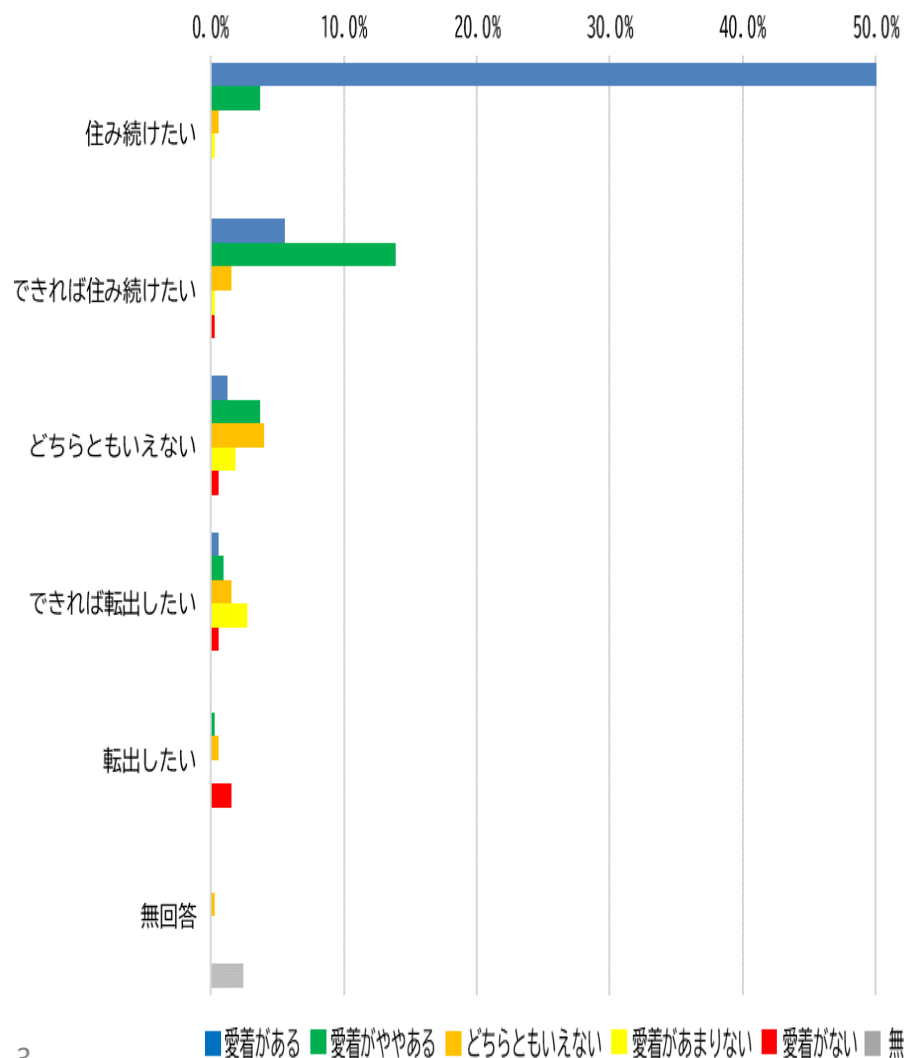


【居住意向】

5年後も「住み続けたい」が5割以上

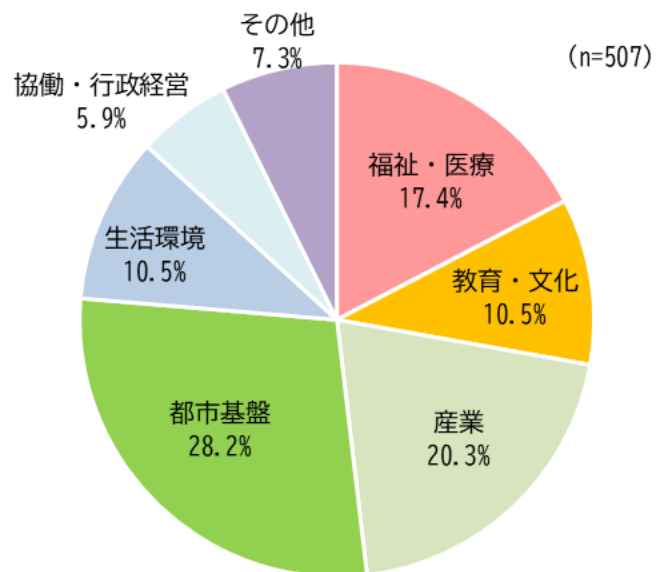


【市への愛着×居住意向】



3 「まちづくりに対する意見・提案」の集計結果

大綱	1 福祉・医療	2 教育・文化	3 産業	4 都市基盤	5 生活環境	6 協働	その他	総数
件数	88	53	103	143	53	30	37	507
割合	17.4%	10.5%	20.3%	28.2%	10.5%	5.9%	7.3%	100%



4 「まちづくりに対する意見・提案」の概要

(1) 分野別

「子育て支援」「交通・移動の便」「にぎわいづくり」への要望が多く寄せられた。

分野	主な意見・提案
子育て・ 若者定住	○保育園・認定こども園の整備・増設と、保育士の処遇改善を進めてほしい。 ○市内在住であればミルク・おむつ券がもらえるようにしてほしい。 ○若者の雇用創出に向けた企業誘致を推進してほしい。
道路・ 公共交通	○国道6号の渋滞緩和を早急に進めてほしい。 ○バス路線を維持・充実させてほしい。かみね動物園やシーマークスクエアへの直行バスの運行を求める意見も寄せられた。 ○タクシー利用助成の拡充やコミュニティバスの運行など、高齢者向けの移動支援を充実させてほしい。
にぎわいづくり・ 企業誘致	○日立駅周辺にレストランやドラッグストアを誘致してほしい。 ○若者・移住者の起業支援のため、空き店舗での開業を支援してほしい。 ○かみね公園（動物園）の魅力向上と、サイクリングなど観光のPR・環境整備を進めてほしい。
多文化共生・ 新しいコミュニティ	○インターナショナルスクールを建設し、多文化共生のまちづくりを進めてほしい。 ○外国人への日本語教育を充実させてほしい。 ○地域通貨の導入により、コミュニティ活動を活性化してほしい。 ○コ・ハウジング（多世代共生住宅）を導入し、新しい住まい方を推進してほしい。
デジタル活用・ 行財政	○市公式LINEの双方向機能（問い合わせ対応等）を充実させてほしい。 ○学校手続きのデジタル化を進めてほしい。 ○不要な公共施設・用地の売却を進め、財政の健全化を図ってほしい。

4 「まちづくりに対する意見・提案」の概要

(2) 年代別

若者は魅力や利便性、子育て世代は生活環境、高齢者は移動や日常生活に関する意見が多かった。

年代別	特徴	典型意見	キーワード
20～30代	○「このまちに住み続けるか迷っている」層	○若者が残らない	○将来不安 ○定住迷い ○利便性
	○交通・利便性への不満（移動しづらい）	○交通が不便で生活しにくい	
	○若者向けの魅力不足（娯楽・働く場）	○魅力が少ない	
30～40代	○子育て支援への関心が圧倒的に高い	○保育・病児保育を充実してほしい	○子育て環境 ○生活満足度 ○実用性
	○公園・施設・保育など具体的要求が多い	○子どもが遊べる場所が少ない	
	○生活のしやすさをシビアに評価	○教育環境を改善してほしい	
50～60代	○交通・インフラ・地域の維持に関心	○人口減少が心配	○地域維持 ○バランス ○現実志向
	○高齢化の進行への危機感	○地域の活力が低下している	
	○まちの将来を俯瞰的に見ている	○交通を維持してほしい	
70代以上	○交通（特にバス）への依存度が非常に高い	○バスが少なくて困る	○移動 ○医療 ○安心
	○医療・福祉への関心が強い	○病院に行きづらい	
	○日常生活の維持が最優先	○移動手段を確保してほしい	

4 「まちづくりに対する意見・提案」の概要

(3) まとめ

- ・全体としては、高齢化の進行と公共交通の弱体化について、不安を抱いている回答者が多かった。
- ・若者・子育て世代が定住を決める魅力(大型商業施設など)の不足が、人口減少への強い危機感となっている。
- ・道路・公園・公共施設など、日常生活の質に直結する分野への改善要望が多く、市民満足度向上には身近な生活環境整備が効果的と考えられる

- ・年代別に見ると、若年層は「定住の選択」、子育て世代は「生活環境」、高齢層は「移動と生活維持」に関心が集中している。
- ・特に、子育て世代の満足度が定住意向に直結しており、人口減少対策の鍵となる層である。
- ・公共交通は全世代共通の課題であり、利便性の向上が幅広い世代の満足度向上に効果的と考えられる。

- ・「インターナショナルスクール」、「コ・ハウジング（多世代共生住宅）」など、多様な人々が共に暮らすまちへの新しい視点からの提案もあった。

5 「大綱・施策別の意見・提案」の主な内容

大綱	施策	主な意見・提案
大綱1 福祉・医療	子ども福祉	○ 子育て環境の充実のため、保育園・認定こども園の整備・増設と、保育士の処遇改善を進めてほしい。 ○ 日立市で子どもを出産していない場合でも、市内在住であればミルク・おむつ券がもらえるようにしてほしい。
	高齢者福祉	○ 高齢者向けのシェアハウスやグループホームを整備してほしい。 ○ 免許を返納した高齢者が安心して外出できるよう、タクシー利用助成の拡充やコミュニティバスの運行など、移動支援の仕組みを充実させてほしい。
	障害者福祉	○ 視覚障害のある方が安全に暮らせるよう、道路の点字ブロックの整備などを進めてほしい。 ○ 発達障害の診断に至らない、いわゆる「大人のグレーゾーン」について、市民や職場の理解促進と相談体制の充実を図ってほしい。
	地域福祉・地域共生	○ 地域福祉として、避難行動要支援者への支援が心強い。 ○ 「ひきこもり」の方の居場所づくりを進めてほしい。
	地域医療体制等	○ 産婦人科・小児科の拡充や誘致を進めてほしい。 ○ ひたち小児オンライン医療サービスの処方薬受け取り薬局について、北部・南部などの地域でも選択できるようにしてほしい。
	健康づくり	○ 高齢者が家にこもりがちにならないよう、健康体操の取組を推進する。 ○ 交流センターを有効活用し、ボランティアを通じた健康づくりを推進する。
大綱2 教育・文化	学校教育	○ 子どもたちが安心して学べるよう、エアコンやトイレなど老朽化した学校施設の改修・整備を計画的に進めてほしい。 ○ 小学生向けのスクールバスを運行してほしい。
	高等教育等	○ 市内高校生の卒業後の進学先として、専門学校の誘致・新設を進めてほしい。
	生涯学習	○ 海・公園・里山を活用した常設または定期的な屋外学習プログラムの整備を進めてほしい。 ○ 読書活動推進のため、本の返却口を駅やヒタチエに設置してほしい。
	文化・芸術	○ 市民会館の老朽化対策と利便性の向上を進めてほしい。 ○ 空き家を活用し、若手クリエイターによる芸術発信のまちづくりを進める。
	スポーツ	○ ランニング・ウォーキング・サイクリングコースの整備。 ○ 高齢者でも参加できる行事が増えることを期待したい。

5 「大綱・施策別の意見・提案」の主な内容

大綱	施策	主な意見・提案
大綱3 産業	商業	○ 日立の商業の活性化のため、大型商業施設の充実を図ってほしい。 ○ 小規模店舗の後継者不足や経営難に対する支援をしてほしい。
	農・林業	○ 農業の維持のため、繁忙期などに若い人が協力できる仕組みを構築してほしい。
	産業立地	○ 若者の雇用を生み出すためにも、企業誘致を進めてほしい。
	観光	○ かみね公園のさらなる魅力向上のため、動物園の整備などに力を入れてほしい。 ○ サイクリングのまちとして、環境整備とPRを進める。
	創業・雇用・労働	○ 空き店舗を活用し、市内で開業を希望する方への支援を進める。 ○ 就職氷河期世代でも働きやすい施策を検討してほしい。
大綱4 都市基盤	市街地整備	○ 日立駅周辺は空き店舗が多く、レストランやドラッグストアが少ないため、店舗誘致を進めて駅前の活性化を図ってほしい。 ○ 今後、空き家や遊休地はさらに増えることが見込まれるため、居住地域の集約化を図り、まちの機能のスマート化を検討してはどうか。
	道路交通体系	○ 国道6号を中心に、市内の渋滞を緩和してほしい。 ○ 安全に自転車が走行できる道路の整備を進めてほしい。
	公共交通体系	○ 高齢化対策として、バス路線を減らさないでほしい。 ○ かみね動物園やシーマークスクエアへのアクセス向上のため、直行バスの運行を検討してほしい。
	公園緑地・さくら	○ 公園で安心して子どもが遊べるよう、新たな遊具の設置を検討してほしい。 ○ 除草など公園の維持管理をしっかり行ってほしい。
	河川・水路	○ 洪水に備え、河川の河床掘削を進めてほしい。 ○ 川沿いの遊歩道を整備してほしい。
	住環境・定住	○ 空き家の活用と、空き家の情報把握体制を強化する。 ○ 高齢者や子育て世代が孤立せず安心して暮らせるコ・ハウジングが市内にあるとよい。
	上下水道	○ 上下水道の老朽化対策や耐震化を早急に進めてほしい。

5 「大綱・施策別の意見・提案」の主な内容

大綱	施策	主な意見・提案
大綱5 生活環境	自然環境の保全と創造	○ 各家庭への太陽光発電設備の導入を促進し、電気使用量の削減と環境保全を進める。
	ごみ・資源	○ リサイクルの取組を強化してほしい。 ○ 再生資源回収の頻度を増やしてほしい。
	消防・救急	○ 歩きたばこのポイ捨てが火災につながるため、罰則制度などの対策が必要。
	防災・減災	○ 線状降水帯による被害対策として、関係機関と協力し排水能力の向上に努めてほしい。 ○ 原子力災害発生時に迅速かつ安全に市外へ避難できるよう、複数の避難ルートを確保してほしい。
	防犯・交通安全	○ 子どもの通学路に街灯を増やし、明るくしてほしい。 ○ 防犯カメラの設置を増やしてほしい。
	墓地・葬祭場	○ 墓地の適正な管理を推進してほしい。
大綱6 協働	コミュニティ活動	○ 地域コミュニティ単位での話合いに行政が関わる取組を充実させてほしい。 ○ 町内会運営が困難になってきていることから、コミュニティ活動を充実させる必要がある。
	市民の多様な活動	○ 地域通貨を導入し、多様な市民活動につなげる。
	産官学連携	○ 市内大学との連携を図り、教育やボランティア分野での協力を進める。
	男女共同参画・若者応援・多文化共生	○ インターナショナルスクールを建設し、グローバル人材の育成を目指す。 ○ 多文化共生のため、外国人への日本語教育の充実が重要である。
	広聴広報・プロモーション	○ 市公式LINEを活用し、各種手続きの案内や問い合わせ対応など双方向のやり取りができる機能を充実させ、市民が行政情報にアクセスしやすい環境を整えてほしい。
	デジタル化・行財政運営	○ 学校関係手続きのデジタル化を進めてほしい。 ○ 廃止後の公共施設や公共用地の売却を進めてほしい。